宿泊販売の方針

旅ホ連と連携強化

ＪＴＢが2017年度に宿泊販売4500億円の目標を達成するには、グループの総合力の発揮が必要不可欠だ。ＪＴＢグループの主要な旅行販売事業会社18社の社長に、17年度の国内宿泊に関わる販売の方針・方策やＪＴＢ旅ホ連との連携策について語ってもらった。

JTB旅ホ連特集

ＪＴＢ北海道

「早く・高く・売り切る」が目標

笹本　潤一　社長

2017年下期に全国DC「日本の旬北海道」が実施される。キャッチフレーズは「感動劇場HOKKAIDO～新発見、海と大地のたからもの～」。北海道を劇場に見立て趣向を凝らした企画を用意し、秋冬北海道の自然・食文化を改めて全国の皆さまに楽しんでいただくために準備を進めている。ＪＴＢ国内旅行企画とＪＴＢ北海道そして旅ホ連の皆さまと一層連携し新たなコンテンツ開発やさらなる魅力をアピールし来道者数を増やし宿泊券の増売につなげていく1年とした い。

17年度の店頭営業方針については、前述の日本の旬の販売強化はもちろん、旅ホ連加盟施設の皆さまからご提供いただいているお部屋を「早く・高く・売り切る」ことを継続した目標とし、お客さまニーズにマッチした販売チャネルでの受注展開を強化していきたい。販売店舗では専門性とホスピタリティの向上を重視し、皆さまと情報の共有をしながら、お客さまに寄り添った営業展開を実践していきたい。

渉外営業の団体、訪日インバウンドについても着地事業へのシフトを加速させるために自治体、関係機関の皆さまと連携し、北海道全体の観光振興・経済発展のためにプレゼンスを向上させ、地域に貢献したい。そのために各渉外支店に地域交流ビジネス専任担当者を配置し強いリーダーシップを発揮し団体部門でも宿泊券のさらなる増売を目指したいと考える。

ＪＴＢ関東

地域の未来を共に創る

今枝　敦　社長

2017年度も地域総合会社の強みを最大限に発揮し、「共創」をテーマに個人グループ、法人、教育、地域交流グローバル、提携販売の5事業間の連携を深め、地域のお客さまやビジネスパートナーの皆さまから選ばれる会社を目指して営業を深化させ、来たる18年下期「日本の旬北関東」（仮称）への準備を図りたい。

個人グループ事業は、リアル店舗の強みを生かしたコンサルティング営業を実践し、お客さまに最も相応しい旅のご提案を進める。特にＪＴＢ関東管内6県の宿泊増売について、ＪＴＢ関東オリジナルパンフレット「厳選店長おすすめの宿」の販売強化を全社集中販売商品として推進する。

法人・教育事業は、強みの地域に正対した密着営業と売り切る力を発揮し、全社集中販売である「日本の旬」「戦略商品」などを通じ販売の強化と宿泊の増売を推進する。

地域交流グローバル事業は、エリアプロモーションの考え方を基に自治体や戦略的パートナー企業との連携、活用による魅力ある着地コンテンツの開発を手掛ける。特に訪日インバウンド向けのルート構築に力を注ぎ、域内における宿泊増売に貢献する。また、19年ラグビーワールドカップ、20年五輪・パラリンピックの観戦客を回遊させる仕組みも構築していく。

宿泊券増売に向けては旅ホ連各支部の皆さまとの連携が今後も不可欠であり、引き続きのご支援をお願いしたい。

ＪＴＢ中部

永続的に成長する企業へ

松本　博　社長

中期経営計画の2年目となる2017年度は、経営スローガンである「Grow up to the future ―レジリエントカンパニーを目指して―」へのチャレンジの1年と位置付け、強さとしなやかさと変革力を兼ね備え、永続的に成長していく企業を目指していく。

中部エリアにおいては、伸長を続ける訪日インバウンドや大型スポーツイベントやMICEの誘致・開催など、将来に渡って明るいトピックスは多い。特に2017年度は伊勢志摩サミット開催によるアフターサミット効果の持続に加え、NHK大河ドラマ「おんな城主　直虎」の放映効果や、レゴランドの開業など、全国から注目される要素を持っている。

またJTBの国内最大のデスティネーションキャンペーンである「日本の旬」も上期は信州で開催中である。

これらを大きなチャンスとして捉え、域内の宿泊増売に向けては、中部エリアが保有する観光資源を磨き上げ、付加価値をつけた魅力的な観光コンテンツに仕立て、全国そして世界に発信していきたい。またDMCとして、地域と一体となって販売、販促を行うことで、地域の発展に寄与していきたいと考えている。

また中部国際空港、名古屋大須商店街、高山に開設したツーリストインフォメーションセンターを強化することで、訪日外国人へ中部の魅力を伝え、中部への人流創出につなげていきたい。

ＪＴＢ東北

復興の先へ、国内外から誘客

森　吉弘　社長

震災復興からその先の未来へ。官民連携により東北ならではの魅力を発信し、国内外から東北にお越しいただく取り組みを強化する。

上期は、東北絆まつり（6月10、11日）、全国高等学校総合体育大会（7月22日～8月20日）、第41回高等学校総合文化祭（7月31日～8月4日）、第11回全国和牛能力共進会宮城大会（9月7～11日）と大型業務を完全幹旋し、宿泊券の販売に貢献する。

下期は、紅葉、年末年始の販売の最大化を図ると共に、樹氷がメインの白い東北の宿泊プランの販売を強化し、オフ期の宿泊券販売を拡大する。

販売体制においては、東北の空の玄関口、仙台空港に、仙台国際空港店（みちのく観光案内）を開設し、仙台空港に到着した国内外の旅行者に東北6県の観光情報を発信すると共に多言語での接客による宿泊券販売にも取り組む。

また、国の交付金事業を獲得し、インバウンドの取り組みを引き続き強化し、2020年の150万人泊へのステップの年とする。

さらに東北各支部との連携強化に加え、東北支部連合会の宿泊増売委員会と連携し、東北6県の宿泊券販売額の最大化を目指す。部会、委員会では、インバウンド委員会と連携しサンライズツアーの拡充、ホテル部会と連携し東北の都市型ホテルの商品化と、ＪＴＢ旅ホ連と共に送客に加え創客に取り組む年とする。

ＪＴＢ首都圏

挽回に向けたスタートの年

池田　浩　社長

ＪＴＢ首都圏は、「首都圏マーケットでの販売拡大」を最大のミッションとし、「苦戦した前年の挽回の年」として2017年度のスタートを切った。リアルの旅行販売店がお客さまに価値を感じ続けていただくために必要なことは、「業務知識」と「CS」の向上と考えている。社員教育においては、「専門性」「現地知識」「コンサルティング力」強化のため、現地研修を最大の教育の機会と捉え、個人研修、集合研修旅行ともに、積極的に研修の機会を増やしたい。CSの向上については、お客さまのお待たせ時間改善のため、「旅行相談予約制」や「コールセンターでのメール受け付け」など、仕組みの改善も試行していく。

リアル店舗の価値である「お客さまの要望に合った旅行や宿泊施設の提案」を行い、お客さまの満足度向上を図りたい。

国内旅行については、関東、伊豆、信州、東北など近場の宿泊旅行のパンフレット露出を強化し、お客さまの拡大を図っている。また、新たな需要創造、価値創造のためJTB国内旅行企画やJTBガイアレックとの連携を強化し、広い意味での製販一体体制を展開していく。ロイヤルロード銀座においては、ラグジュアリーバスの導入をはじめ、高品質国内旅行の新商品開発を継続して進めている。旅ホ連組織やグループ各社とのさらなる連携で今後とも宿泊増売と地域振興・観光振興に貢献していきたい。

ＪＴＢ西日本

持続的成長モデルの確立へ

光山　清秀　社長

2017年度は事業計画で定義した四つの事業（「旅行事業」「ソリューション事業」「MICE事業」「インバウンド事業」）の成長を目指して定めた重点強化項目を実践し、「事業開発」による事業領域の拡大による五つの躍進によって、「交流創造企業への大躍進」を実現させるという歩みを変えずに取り組んでいく。

社会課題や地域課題、顧客課題に正対し、商品競争力、販売力、専門性の向上を製販一体の取り組みにより強化することで、マーケットにおける競争優位性を発揮する強固な体制を築いていきたい。

間もなくデビューする豪華寝台列車「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」による列車の旅の価値の訴求とともに、話題性の高い地域の イベント（大政奉還150周年事業、山口DCなど）と連動することで、新たな素材の開発や周遊型観光の提案の機会としたい。

将来に目を転じると、西日本エリアにおいては「ラグビーワールドカップ2019」「東京2020オリンピック・パラリンピック」「ワールドマスターズゲーム2021関西」「2025年万博の大阪誘致」などの大きなビジネスチャンスとなる国際イベントを控えている。国内外からのお客さまの人流の拡大、DMC戦略による地域への誘客に向けて、旅ホ連会員および地域行政、観光団体の皆さまとより連携を密にして仕掛ける年としたい。

新御客前料理

和・洋のより新鮮で旬の料理が食べ放題の“しんわダイニング”が誕生しました。
料理人が食材を豪快かつ繊細に調理するライブキッチンや
ごはんが美味しい土かまどスペース、そして焼きたてピザが楽しめる石窯など楽しさいっぱいのダイニングです。

湯亭　風流野天風呂棟　24時間風呂

戸田家温泉村

男湯 緑の賀　女湯 花の賀　無料貸切風呂 たぬき風呂

伊勢志摩国立公園／鳥羽浦　国際観光ホテル整備法登録旅館
しんわ千年 戸田家
〒517-0011　三重県鳥羽市鳥羽1丁目24番地26号
TEL.(0599)25-2500　FAX.(0599)26-2552
URL　http://www.todaya.co.jp/　E-mail　info@todaya.co.jp

淡路島洲本温泉～全客室オーシャンビュー。夢のある空間づくりをめざして～

準特別室

展望貸切風呂

メインダイニング“遊楽”

☆体と心にやさしい洲本温泉「潮騒の湯」でゆったりほっこり
☆平成28年、夏メインストリート「遊楽街道」が完成!!

全景

淡路インターナショナルホテル
ザ・サンプラザ
〒656-0023　兵庫県洲本市小路谷1279-13
TEL.0799-23-1212　FAX.0799-22-5823
http://www.the-sunplaza.co.jp
E-Mail. info@the-sunplaza.co.jp

湯山荘
阿讃琴南
あさんことなみ

川の風、山の音を感じ、ふるさとの山々を望む客室。
山の斜面を生かし、広々としたテラスに山の香りが届く
里山ヒュッテ。森に抱かれた河畔風呂や阿讃の野趣
溢れる里山料理など、豊かな大自然を五感で感じ
ながらお過ごしいただける、新しい山峡リゾートです。

766-0204
香川県仲多度郡まんのう町勝浦 1
0799-25-2521（ホテルニューアワジグループ予約センター）

Hotel New Awaji Group　ホテルニューアワジ　淡路夢泉景　天原　島花　花季　夢海路 淡路島　ホテルニューアワジプラザ淡路島　あわじ浜離宮　琴平花壇　Sheraton KOBE BAY HOTEL & TOWERS